

地域・社会とともに

1995年から本格的に始まった社会貢献活動。「全社員が年に1回はボランティアに参加する」を合言葉に、社員が自主的に参加しやすいようにボランティア担当者が案内をしています。また、地域との関わりを深めるために、ワタミグループ本社や各事業拠点が所在する地域のイベントなどにも参加させていただいています。

■社員一人ひとりが行う社会貢献

ワタミグループは、社会的使命（責任）を果たすためにも、「良き企業市民」として社会とともに生きる企業を目指しグループをあげて社会貢献活動を実践していきます。

ワタミグループは、社会貢献活動やボランティア活動とは「何かをしてあげることではなく、何かをさせていただくことにより学び、感動し、結果として成長させていただくこと」だと考え、社員一人ひとりが、自発的・継続的に社会貢献活動を行うことを推奨しています。

活動は、「できるところからコツコツ」という考えのもと、「無理をせず、確実に継続すること」を重視しています。

■社員の意識向上を目指して

新入社員「ボランティア研修」

1994年度に、新入社員が地域の作業所を訪問し、ボランティア活動を行うプログラムを導入しました。以降、新入社員の「入社時研修」の一環として、毎年4月に「ボランティア研修」を実施しています。

「ボランティア研修」とは、障がい者福祉施設や児童福祉施設を訪問させていただき、ボランティアを通じて「相手の立場に立ち、相手がしてほしいことをするとは、どういうことなのか」を学ばせていただくことを目的としています。訪問した社員は、職員の方に教わり、障がいをもった方と一緒に作業を行ったり、交流を図りながら一日を過ごします。

2015年度は、合計22の施設に受け入れていただき、新入社員67名が参加しました。

■地域行事の開催・協力

福祉施設開催のバザーへの参加

1995年度に福祉施設開催のバザーに屋台を出店して以降、継続的にバザーやお祭りに参加しています。外食事業で培ったノウハウを活かして、お好み焼き、焼きそば、焼き鳥などを販売させていただき、その売上金を福祉施設に寄附させていただいています。2014年度は、23回、バザーに参加しました。

食事会の開催

1999年度より、ハンディキャップがあるなど社会参加の少ない方を外食店舗にご招待する「お食事会」を継続して開催しています。嚥下障がいのある方には、ソフト食を提供させていただいています。また、参加する社員は、この活動を通して、サービスの原点であるホスピタリティを学び、「相手の喜びを自分の喜びに変える」ことを実感できる機会をいただいています。

2014年度は、お食事会を40回実施し、418名の社員がボランティアとして参加しました。

授産品代行販売

1999年度より、障がいをもった方々の社会参加の後押しを目的に、一部の外食店舗にショーケースを設置し、「授産品（※）」の販路を広げる手伝いをさせていただいています。2014年度は、一部のワタミグループ国内外食店舗にて、160,465円分を代行販売させていただきました。

※授産品とは：障がいのある方が、自立した生活を営めるよう、障がい者福祉施設などでは作業訓練が行われており、授産品はそうした作業訓練の一環として、障がいのある方が製作した製品。



店舗入口に設けられた授産品コーナー

「自然体験ツアー」への協力

2011年度より、青少年対策羽田地区委員会様主催の「自然体験ツアー」の受け入れをさせていただいています。

2014年度は、NPO法人 Return to Forest Life（現・公益財団法人 Save Earth Foundation）の協力のもと、「ワタミの森」で間伐作業の見学や植樹体験を行っていただきました。また、ワタミファーム山武農場では、実際に有機野菜に触れていただきながら、「循環型農業」や「資源と命の関わり」について紹介させていただきました。

「ワタミの森」では、「森を大切にすること、森の再生」を、山武農場での農業体験では有機野菜ができる過程での「命の大切さ、命のつながり」を子どもたちが考えるきっかけづくりになることを目指しました。今後も「自然体験ツアー」に協力させていただきます。



「ワタミの森」での間伐作業の様子

地域まつりへの参加

2014年度は、羽田地区の町内会 20 団体で運営する「羽田・萩中ふれあいまつり」にも参加させていただきました。今後も地域に根ざす企業として地域の皆様と交流を深めていきます。また各事業拠点においても、町内会とのつながりを大切にし、地域に密着した企業活動の展開を目指していきます。



羽田・萩中ふれあいまつりでの様子

地域清掃・美化活動への参加

本社が所在する東京都大田区羽田地区の様々な町内活動へ参加し、地域の方々と交流する機会をいただいています。2014年度は、6年目の参加となる「大田区スポーツ GOMI 拾い大会」に参加させていただいたほか、町内会主催の「大鳥居駅前清掃」に毎月継続して参加させていただきました。



清掃作業の様子

「エコフェスタ ワンダーランド」への参加

子どもたちが環境について考えるきっかけづくりとして大田区が毎年開催している「エコフェスタ ワンダーランド」に継続して参加させていただいています。

2014年度は、有機食材を使用したおでんの試食と、「ワタミの森」の間伐材を使用した木のペンダントづくりを行いました。



おでんの試食の様子

■次世代教育への取り組み

「わたみ北海道自然学校」の開催

1999年度より、毎年夏季に、小学校4～6年生を対象としたふれあいイベント「わたみ北海道自然学校」を開催しています。この学校は、「『命、自然、友だち、生活習慣、夢』との出会い」をテーマに、子どもたちのもつ「思いやり、誠実さ、謙虚さ、感謝の心、素直さ」など、「人間が本来もっている美しい資質」を高める「きっかけ」を提供したいとの思いで行っているイベントです。

子どもたちには、ハイキングやワタミファームでの野菜収穫、海洋スポーツなどを体験していただきます。また、将来の夢について考え、「夢作文」を書くことを学校の目標としており、一人ひとり、作文を発表する時間を設けています。

第17回目となる2015年度は、北海道九遠郡せたな町役場の方々のご協力のもと、せたな町にて、7月27日～7月30日の3泊4日で開催しました。子どもたち22名と、スタッフとして、ワタミグループ社員など計13名が参加しました。



農業体験の様子(ワタミファーム瀬棚農場にて)

「農業インターンシップ」の開催

1999年度より、「農業インターンシップ」を実施しています。農協や農家の方のご協力をいただきながら、18歳～30歳位までの方を対象に約2週間北海道に滞在し、農家の方の収穫補助を体験していただきます。日本の農業に対する理解の促進や、若者に「働くこと」「自然」「仲間」と向き合う機会を提供することが目的です。

2015年度は、8月から9月にかけて2回開催し、(有)当麻グリーンライフや帯広大正農協様をはじめ、21戸の農家の方々のご協力を得て、農産物の収穫や箱詰め作業などの農作業を、26名に体験して頂きました。



ワタミファームでの学生や法人の受け入れ

2004年度より、有機農業への理解促進などを目的として、学生や法人の受け入れをワタミファームにて行っています。2014年度は、瀬棚農場、山武農場、白浜農場、東御農場にて、それぞれ受け入れを行いました。

<瀬棚農場>

学校法人郁文館夢学園様(中学2年生)の修学旅行の一環として、「命の循環」をテーマに、播種、搾乳、と殺チーズの製造体験などを114名の中学生に体験していただきました。

<山武農場>

2014年度、お取引業者様をはじめ、合計399名の方の視察を受け入れました。外部企業様、農業関係者様、学生、一般社会人などインターン、見学会など様々な形で受け入れを行いました。

<白浜農場>

2012年度より、白浜小学校3年生と5年生の農業体験を受け入れています。2014年度は、延べ171名の小学生に参加いただき、3年生にはオクラを、5年生には大根の播種、除草、収穫、給食のメニュー化までを体験していただきました。

<東御農場>

学校法人郁文館夢学園様が行っている「夢合宿」の一環として、自然環境や食に対する関心を高めてもらうことを目的に、中学生・高校生に、播種、収穫などの農作業を体験していただきました。2014年度は、580名の中高生を受け入れました。

児童養護施設の子どもたちの受け入れ

2013年3月、NPO法人ブリッジフォースマイル様（以下、ブリッジフォースマイル様）（※1）が行う児童養護施設の中学生・高校生の子どもたちを対象としたインターン企画「ブリッジキャリア」（※2）に協力しました。2014年度は、中学生・高校生、計9名を受け入れ、ワタミグループ外食店舗、介護施設、本社にて職業体験の受け入れを行いました。※1ブリッジフォースマイル様は、児童養護施設に入所した子どもたちが、安心して社会に巣立ち、夢と希望を持って笑顔で暮らせる環境を作ることを目指し、活動している団体です。

※2「ブリッジキャリア」とは：ブリッジフォースマイル様が、東京都事業「児童養護施設退所者などの就労支援事業」として、パソナグループ様と連携して実施している活動。児童養護施設の子どもたちに、職業体験を通して、退所後の自立に向けてサポートしていくことを目的としています。

「ブックフォースマイル」の実施

2013年度より、児童養護施設の子どもたちへの支援の一環として、ブリッジフォースマイル様が行う「ブックフォースマイル」（※）をワタミグループ本社にて実施しています。本社内で不要になった本の寄附を呼びかけ、2014年度は、合計238冊集まり、5,911円分の寄附をさせていただきました。

※「ブックフォースマイル」とは：ブリッジフォースマイル様が行っている活動で、不要になった本を指定の買収業者様に買い取っていただき、その買収金額を児童養護施設の子どもたちの自立支援に役立てるという取り組み

職業体験の受け入れ

中学校、高校の職業体験学習に積極的に協力しています。2014年度は、3名の地元の中学生の職業体験学習を受け入れ、グループ外食店舗での調理や食事の提供を体験してもらい、その後は「最高のサービスとは何か」についてのワークショップも行いました。

また、2015年度は地方からの修学旅行生の受け入れも積極的に行い、2015年8月末現在合計142名に「ワタミ夢ストリート」を見学していただき、ワタミグループの理念経営について紹介しました。



ワタミ夢ストリートにて修学旅行生受け入れの様子

■社会貢献団体への支援

「ワタミふれあいカード」からの寄附

1996年度より、「未来の子どもたちのために」をテーマに「ワタミふれあいカード（クレジットカード）」を発行しており、ワタミグループ国内外食店舗での利用総額の1%相当を、社会貢献活動を行う団体に寄附させていただいています。

2014年度は、ご利用総額309,670千円の1%相当となる3,097千円を公益財団法人 School Aid Japan（以下、SAJ）に寄附させていただきました。

2015年度からは、寄附先がSAJ、公益財団法人みんなの夢をかなえる会、そして公益財団法人 Save Earth Foundation の3団体になります。

「社員向けSAJ・カンボジア視察ツアー」の開催

2011年度より、ワタミグループ社員を対象とした「社員向けSAJ・カンボジア視察ツアー」を開催しています。

ワタミグループが支援する公益財団法人 School Aid Japan（SAJ）の活動に対する理解を深めてもらい、参加した社員が自らの言葉でSAJの活動を伝えていくことにより関心の輪を広げていくことが目的です。ツアーでは、カンボジアの現状や過去の歴史に触れるとともに、SAJが運営する孤児院や農場（SAJ Farm）への訪問、SAJが建設した学校での学習や、朝給食の見学を行います。

2014年6月には、孤児院を卒業した子どもが2名通っている王立プノンペン大学の語学コースの授業見学や、SAJが建てた第一校目である「トモケオ小学校」訪問などもツアーの行程に加え、25名が参加しました。



孤児院の子どもたちとの農作業の様子

■海外での取組み

ボランティア活動

海外外食事業では、積極的に社員のボランティア活動を支援しています。

2014年度は、合計566名の社員がボランティアに参加しました。各地域では、お食事会、老人養護施設への訪問、清掃活動、ゴミリサイクルセンターへの訪問、ローカル団体への募金活動、植林活動など多岐にわたるボランティア活動を実施。香港本部では、オフィス電子製品を回収業者法人に寄附する回収活動を2回実施しました。

また、香港・台湾・シンガポールの社員を対象としたSAJカンボジア視察ツアーも開催し、合計14名の社員が参加しました。



ゴミリサイクルセンターでの分別作業の様子

「ワタミふれあいカード」からの寄附

国内と同様、海外でも「ワタミふれあいカード」を発行しており、ご利用金額の一部を社会貢献に使用させていただいています。和民（中国）有限公司は、香港のワタミグループ外食店舗でのご利用総額のうち0.25%相当を社会貢献活動を行う団体へ寄附させていただいています。2014年度は、211,798香港ドルを公益財団法人 School Aid Japan に寄附させていただきました。台湾和民餐飲股份有限公司は、2005年度より「ワタミふれあいカード」を導入しており、台湾のワタミグループ外食店舗でのご利用総額の1%相当を社会貢献活動を行う団体へ寄附しています。2014年度は、赤十字の障害児基金へ44,407台湾ドル寄附させていただきました。